

明治大学レインボーサポートセンター
活動報告書
(2020・2021年度)



明治大学レインボーサポートセンター

巻頭言

浜本 牧子 レインボーサポートセンター長
(学務担当副学長兼学生部長、農学部教授)

明治大学レインボーサポートセンターは、2020年2月に発足し、本大学の「多様な性に配慮した教育研究のあり方に係る基本方針」に基づき、性のあり方にかかわらず、すべての学生が適正に教育研究活動等を行うことのできる環境の整備及びあらゆる多様性を受容・尊重できる価値観を有する人材の育成を目的として、種々の取り組みを行っています。

本報告書は、2020年4月から2022年3月までの2年間、2020年度・2021年度の取り組みについての報告書であり、本センターの初めての報告書となります。この2年間、コロナ禍で当初計画していた取り組みを中止や変更せざるを得ないこともありましたが、感染症対策として急遽整備されたオンラインを活用した新しい取り組み方法の導入により、物理的に離れているキャンパスに通う学生への支援やアプローチという潜在的な課題の解決につながる手掛かりが得られたのも事実です。オンラインの活用については、ポストコロナ時代の新たな学生支援方策を講じる上で積極的に取り入れていきたいと考えています。

2021年度の取り組みの一つとして、「教職員向け LGBT 等学生への対応ガイド」を作成しました。教職員の皆様には既にお手元に届いていることと思います。本ガイドでは、上記の基本方針に基づき、現状での具体的な対応指針を示しています。「LGBT 等の当事者は自分の周りにはいない」と思っている人が少なくないそうです。しかし、「いない」のではなく、「本人が打ち明けられない・打ち明けない」、また「見えていない」だけとも言われています。本大学では、LGBT 等学生が「いる」ことを前提とした対応を提案していますので、ご一読いただけましたら幸いです。

多様な性に配慮した教育研究環境の整備等については、さまざまな視座、視点、価値観があることと思いますが、性の多様性のみならず、あらゆる多様性を尊重し、「誰一人取り残さない」という SDGs の基本理念に則り、高等教育機関の社会的使命として誰一人取り残さない大学をどう実現するか、「少数派も多数派もあるのが当たり前の社会(キャンパス)」の実現に向けて、明治大学らしい取り組みを進めていくことが必要と考えています。また、多くの学生が多様性の尊重と包摂性について強い関心を持ち、自分たちのこととして考え、学生目線で啓発活動等に関わってくれることを期待しています。

最後になりましたが、本センターの取り組みや運営にご支援・ご協力を賜りました皆様にご場を借りて心より御礼申し上げます。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

目 次

巻頭言

1. レインボーサポートセンター設置の経緯	1
2. センターの取組み	2
3. 相談統計（相談内容別の対応件数）	4
4. イベント実施	5
5. 他部門との連携	8
6. 2020・2021年度明治大学レインボーサポートセンター関係者名簿	9
7. レインボーサポートセンター運営委員会（開催実績）	10

レインボーサポートセンター設置の経緯

明治大学では、学長方針の基本方針のひとつとして、「男女共同参画とあらゆる性差を超えた平等の実現」を掲げ、2018年11月には学長宣言「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を公表しています。また、2019年度の重点戦略のひとつとして、「多様な性に配慮した施策の推進」、具体的には、LGBT等学生のサポート体制の整備やあらゆる性差を超えた平等に対する理解を深めるための啓発活動の推進を掲げています。

一方、オールジェンダー、障がい、並びに多文化共生等の視点を取り入れた、より広い視野からのダイバーシティの推進に発展させていくための体制について検討することを目的として、2018年度に男女共同参画推進センターの下に設置された「ダイバーシティ推進体制検討WG」においても、学内の支援体制をしっかりと整備したうえで、ダイバーシティの価値観を重視していることやあらゆる多様性を受容していることを積極的に発信するとともに、学内の支援制度の見える化を兼ねて全構成員を対象に啓発活動を行うことが極めて重要であるとの結論が得られています。

これらのことから、学生に対する多様な性に配慮した施策を推進することにより、当事者学生の支援体制を整備するとともに、学生のあらゆる多様性を受容できる価値観を涵養することを通じて、「誰も置き去りにしない」という基本理念を掲げている持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献し得る社会に有用な人材を育成することを目的として、2020年2月、「明治大学レインボーサポートセンター」を設置しました。

センターの取組み

①センター開室

2020年2月にセンターが設置されたのと同時期に、新型コロナウイルス感染症が拡大し始めたため、4月からの本格稼働に向けての準備が大幅に遅れてしまいました。しかしながら、3月には「明治大学レインボーサポートセンター開設記念対談ー多様な性に配慮した教育研究のあり方」を無観客にて開催し、その動画を大学ホームページ上にて公開することで、広く学内外にセンターの存在を周知することができ、センターとしての大きなスタートを切ることができました。

その後、ホームページの開設、相談・助言体制、秘密保持（守秘義務）に関する内規の制定、学内関係部署との連携体制等を整備し、10月から本格稼働をしています。

②相談業務開始

2020年10月より、個別相談を開始しました。およそ週1日（月曜または木曜）の相談対応日を設定し、1コマあたりの相談時間は50分、1日4コマまで対応しています。相談にあたっては、専門性を有する相談員が守秘義務のもと相談に応じています。

新型コロナウイルス感染症に係る本学の活動制限指針レベルに則り、開始当初は対面での相談ではなく遠隔形式（電話/オンライン）での相談から始まりましたが、活動制限指針レベルの移行に応じて対面での相談も実施できるようになりました。遠隔相談は、当初は新型コロナウイルス感染拡大防止のための特別対応として実施していましたが、レインボーサポートセンターがある駿河台キャンパス以外のキャンパスに通う学生にとっての利便性から、対面相談と遠隔相談を選択できるようにしました。

個別相談について

・利用できる方：本学の正規学生（科目等履修生、聴講生、研究生、委託学生、特別聴講学生等非正規生は除く）。

※留学生も対象（日本語のみ対応可能）。

※上記学生のコンサルテーションとして、家族・教職員の利用も可能。

- ・相談は、対面形式または、遠隔（電話／オンライン）形式で実施。
- ・事前予約優先。

相談できること

・性的指向や性自認、LGBT等の多様な性のあり方に関する悩みや心配、大学生活で困っていること、伝えたいこと、知りたいこと等。

【相談例】（実際の相談事例ではありません）

<多様な性に関して>

- ・大学生活を送るうえで困っていることがある

- ・授業での呼称に違和感がある
- ・通称名を使いたい
- ・進路，就活等で悩んでいる
- ・友人からカミングアウトされたけど，どうしよう
- ・同じような悩みを抱えている人と話したい
- ・性別に違和を感じる
- ・女性らしさ，男性らしさ，〇〇らしさに違和感がある
- ・性的指向にまつわる人間関係のことで悩みがある
- ・友人，家族のことで気になることがある
- ・Ally（支援者）について知りたい など

ます。)

③レインボーサポートセンターのシンボルマーク作成

2021年3月，明治大学レインボーサポートセンター（※）開設1周年を機に，性の多様性をはじめ，あらゆる多様性を尊重し，少数派も多数派もあるのが当たり前のキャンパスの実現に向け，すべての構成員が同心協力して取り組むために，多様性と包摂性をイメージしたマークを作成しました。

このシンボルマークは，様々な場面で活用し，本学の多様な性に配慮した教育研究環境の整備等を推進しています。



シンボルマーク

デザインコンセプト

マークの構成要素は，「多様であることは自然なこと」をイメージした「虹と生きものたち」となっており，明治大学の「M」を形作っています。

※ センターの名称：多様な性を生きる人の尊厳とその社会運動を象徴する旗として知られているレインボーフラッグにも通じ，本学の「『個』を強くする大学」という理念の下，多様な個性の尊重を連想させる「虹」＝「レインボー」を用いて，「レインボーサポートセンター」としました。

相談統計（相談内容別の対応件数）

2020年度

相談内容	件数
授業	0
課外活動	0
学生生活	2
就職・資格	7
将来・進路	7
人間関係	2
精神衛生	7
その他	0
合計	25

※2020年度は10月から個別相談を実施。

対応件数 25件

対応人数 8人

2021年度

相談内容	件数
授業	6
課外活動	4
学生生活	10
就職・資格	10
将来・進路	9
人間関係	7
精神衛生	53
その他	8
合計	107

対応件数 107件

対応人数 29人

イベント実施

I 講演会等

◆法学部FD研修会

- 1 日時：2021年7月8日（木）16：28～16：55 ※法学部教授会の前
- 2 場所：グローバルフロント1階グローバルホール（Zoomメイン会場）
- 3 目的：多様な性について大学生が抱える課題と大学がすべき対応についての理解促進
- 4 講演者：レインボーサポートセンター 松永 美佐寿（学生支援事務室 特別嘱託職員）
- 5 出席者数：71名

内訳：オンライン53名（教員53名，職員0名）

会場 18名（教員14名，職員4名）

6 講演内容：

「学校に求められる性の多様性の理解と対応」

- ① 配慮・対応の基本について
- ② よくある質問（授業等でグループをつくる際に気を付けることは？等）
- ③ 大学入学までの生徒たちがおかれている現状
- ④ 大学生ならではの課題（新たなスタート，通称名や希望する性で大学生活を送りたい，性別の移行期，進路・キャリアを考える時期）
- ⑤ 就活する上での壁（ロールモデルが見えにくいためキャリアが描けない、理解ある就職先を選びたいが実態がわからない、性別欄をどう書くか、男女ではっきり分けられるルートスーツ、人事担当者や面接官の差別的な対応を心配など）
- ⑥ 大学生活をおくる上で、よかったと感じた先生の対応

◆職員会研修会

- 1 日時：2021年12月9日（木）18：15～19：15
- 2 実施方法：Zoom
- 3 目的：多様な性について大学生が抱える課題と大学がすべき対応についての理解促進
- 4 講演者：レインボーサポートセンター 松永 美佐寿（学生支援事務室 特別嘱託職員）
- 5 出席者数：28名
- 6 講演内容：

「大学に求められる性の多様性の理解と対応～窓口での対応における注意～」

- ① 配慮・対応の基本について
- ② 大学入学までの生徒たちがおかれている現状
- ③ 大学生ならではの課題（新たなスタート，通称名や希望する性で大学生活を送りたい，性別の移行期，進路・キャリアを考える時期）

④ 就活する上での壁（ロールモデルが見えにくいいためキャリアが描けない、理解ある就職先を選びたいが実態がわからない、性別欄をどう書くか、男女ではっきり分けられるリクルートスーツ、人事担当者や面接官の差別的な対応を心配など）

⑤ 窓口等で求められる配慮・対応

⑥ 大学生活をおくる上で、支えになった先生や大学の対応（学生からの声）

◆就職キャリア支援事務室研修会

1 日時：2021年11月25日（木）14：00～15：00

2 実施方法：ZOOM

3 対象：駿河台・生田・中野就職キャリアの相談担当スタッフ

4 目的：多様な学生の個性や障壁となる事象を理解したうえで相談に臨む

5 講演者：レインボーサポートセンター 松永 美佐寿（学生支援事務室 特別嘱託職員）

6 出席者数：28名

7 講演内容：

「LGBT等学生の理解と就職活動支援について」

① 配慮・対応の基本について

② 大学入学までの生徒たちがおかれている現状

③ 大学生ならではの課題（新たなスタート、通称名や希望する性で大学生活を送りたい、性別の移行期、進路・キャリアを考える時期）

④ 就活で直面する大きな壁

⑤ 就職支援における対応と心がけること

◆創立140周年記念事業における動画講演会

1 テーマ：「誰一人取り残さない大学をどう実現するか-多様な視点から考える-」（多様な性の視点から）

2 実施方法：本学学生と卒業生による講演動画を収録し、HP上にて公開。

3 講演者：本学公認サークル Arco Iris 代表 五十嵐 彩さん、同サークル卒業生 佐藤 匠さん

4 講演内容：

① 「性の多様性を理解する」とは？

② 「セクシュアリティ」とは？

③ 性の多様性が理解され、包摂性が実現された状態とは？

④ インタビュー

・明治大学が重視している多様性の尊重と包摂性をどのような時に感じましたか？

・明治大学で磨かれた『個』とはどのようなものですか？

・今後、明治大学に期待することは？

II イベント等

◆オンラインラウンジ上映会「りんごの色～LGBTを知っていますか?～」意見交換会を企画・実施した。

- 1 日時：2022年3月3日（木）12：30～13：30
- 2 実施方法：Zoom
- 3 目的：性の多様性についての理解促進
- 4 内容：人権啓発ショートムービー「りんごの色～LGBTを知っていますか?～」の上映および意見交換
- 5 出席者数：3名

他部門との連携

相談者からの相談内容によっては、学内の関係機関、部署との情報共有・調整が必要となります。そのため、2020年度には関係機関・部署と打ち合わせを実施しました。具体的には、相談対応の中で相談者より配慮を求められた際の情報の共有や対応方法等について、学生相談事務室、障がい学生支援室（教務事務室）、就職キャリア支援事務室と意見交換を実施し、協力体制を構築することができました。その後は、実際の相談内容に応じて、関連事務室と個別に情報共有・打合せをし連携して対応を行っています。

◆主な取り組み

- ・就職キャリア支援事務室からの要望を受け、性の多様性に対する企業の取り組みに関するアンケート項目の検討を行いました。同事務室が実施したアンケートの結果を企業対応情報として閲覧できるようにし、希望する学生に情報提供をしています。
- ・2022年度春竣工予定の和泉キャンパス新教育棟の多目的トイレのトイレサインに関して、多様な性に配慮するため、関係部署に提言及びサイン案の提示を行い、センターの案が採用されています。
- ・性同一性障害を抱えた学生の通称名使用申請手続の一部改正について、教務事務室へ相談・調整の上、提案を行いました。

他機関との連携

・早稲田大学GSセンター来訪に伴い、両センターの活動報告や質疑応答等、情報交換を行い、大学間の連携を深めました。

2020・2021年度明治大学レインボーサポートセンター関係者名簿

センターにおける役職	所属・資格・役職	氏名	在任期間
センター長	農学部 専任教授 (副学長・学生部長)	浜本 牧子	2020.4~2022.3
副センター長・運営委員	理工学部 専任准教授 (副学生部長)	池田 有理	2020.4~2022.3
センター員・運営委員	法学部 専任講師	小林 史明	2020.4~2022.3
センター員・運営委員	商学部 専任教授	広沢 絵里子	2020.4~2022.3
センター員・運営委員	農学部 専任准教授	大里 修一	2020.4~2022.3
センター員・運営委員	国際日本学部 専任准教授	岸 磨貴子	2020.4~2022.3
センター員・運営委員	文学部 専任准教授 (大学院教務主任)	野尻 泰弘	2020.4~2021.3
センター員・運営委員	文学部 専任教授 (大学院教務主任)	山崎 健司	2021.4~2022.3
センター員・運営委員	専門職大学院グローバル・ビジネス研究科 専任教授 (専門職大学院グローバル・ビジネス研究科長)	山村 能郎	2020.4~2022.3
運営委員	総合数理学部 専任教授 (学生相談員長)	小松 孝徳	2020.4~2022.3
運営委員	学生支援部長	小野寺 幸子	2020.4~2022.3
運営委員	学生支援事務長	永島 英明	2020.4~2020.9
運営委員	学生支援事務長	田中 彰	2020.10~2022.3
運営委員	和泉学生支援事務長	東 盛達也	2020.4~2022.3
運営委員	生田学生支援事務長	大竹 貞昭	2020.4~2022.3
運営委員	学生相談事務長	丸山 忍	2021.4~2022.3
運営委員	中野教育研究支援事務長	藤嶋 利生	2020.4~2022.3
オブザーバー	学生支援事務室 (特別嘱託職員)	松永 美佐寿	2020.4~2022.3

事務局	学生支援事務室	西脇 友彦	2020.4~2021.3
事務局	学生支援事務室	小幡 朋子	2020.4~2020.9
事務局	学生支援事務室	滝 由加子	2020.10~2022.3
事務局	学生支援事務室	秋山 智美	2021.4~2022.3
事務局	学生支援事務室 (派遣職員)	大坂 久代	2021.4~2022.3

協力部署

和泉学生支援事務室
学生相談事務室

生田学生支援事務室
中野教育研究支援事務室

レインボーサポートセンター運営委員会（開催実績）

2020年度

	日程	時間	場所/開催形式	議題
第1回	7月 2日（木）	13：00～13：30	駿河台キャンパス グローバルフロント C5会議室	・2020年度レインボーサポートセンター年度計画について
第2回	9月15日（火）～ 9月21日（月）	—	メール審議	・レインボーサポートセンター相談体制について
第3回	10月16日（金）～ 10月21日（水）	—	メール審議	・2021年度レインボーサポートセンター事業計画（案）について ・2021年度レインボーサポートセンター予算（案）について
第4回	3月25日（木）～ 3月31日（水）	—	メール審議	・2021年度の相談対応・ラウンジ運用について ・2021年度レインボーサポートセンター活動計画（案）について

2021年度

	日程	時間	場所/開催形式	議題
第1回	7月27日（火）～ 8月 2日（月）	—	メール審議	・教職員向け『多様な性に配慮した教育研究等のあり方ハンドブック』の作成について
第2回	10月28日（木）	13：30～13：51	オンライン（Zoom）	・2022年度レインボーサポートセンター事業計画（案）について ・2022年度レインボーサポートセンター予算（案）について ・2020年度レインボーサポートセンター活動報告書の項目について（案）
第3回	3月25日（金）	10：00～10：25	オンライン（Zoom）	・性同一性障害を抱えた学生の通称名使用申請手続の一部改正について